

江工関東遊歩クラブの皆様へ

幹事A40 河野 一史

E47 千代延 武

前略

青葉に風渡る頃となり、木々の緑も益々深くなる今日この頃、会員の皆様は如何お過ごしでしょうか。

さて、先日5月19日(土)～20日(日)の両日、第15回野山散策を山梨県南アルプス市の「夜叉神峠より南アルプスの偉容を眺に」初参加のA32土井氏を含めて9人で行って来ました。新宿発7:00スーパーあずさ1号にて甲府に8:28到着。バスに乗換え50分、終点で下車。待合せのジャンボタクシーにて新緑のカラマツ林の木洩れ日の中、標高差700mを20分で一気に登り、夜叉神峠登山口に到着。記念写真を撮り、登山道に入り、10分置きに休憩を繰り返し、若草色に大きく葉を広げたブナ・ナラ・カエデ・モミジの中、ジグザグのやや急坂を喘ぎながら50分でひとつの根より五本の幹を持つ不思議な「五本松」のポイントを過ぎ、25分で平らな屋根道となり、一際目映い芽吹時のカラマツ林、足元にはクマザサが広がり、今回初めてウグイスの声を聞き、高谷山と鳳凰三山分岐の看板が現れ、初めて展望が開ける間ノ岳・農鳥岳・塩見岳が残雪の峰々に輝いていました。まだ日本第2位の高さを誇る北岳は峠に隠れて見えませんでした。道端の句碑を読みながら急坂を登ると、夜叉神峠に到着。「眼前に広がる南アルプスの大パノラマ北岳・間ノ岳・農鳥岳、それに連なる3000m超えの山々、空は青く峰々は白銀に輝き、壮大な眺めは圧巻でした」

此々で昼食を取り、健脚組「嶧田・森山・千代延」3氏は隣の高谷山1842mにチャレンジされ、残留組は峠を散策し、木々の幹から生えてる不思議な植物に出会いました。

後で、地元の人に聞いたら「サルワゴケ」と言うそうで、そのコケが幹に取付と2年でその木は枯れるそうです。下山途中、登る時に気付かなかった木々や草花を眺めながら登山口に降り立ちました。

ジャンボタクシーに送ってもらい、宿に到着。早速源泉かけ流し長命の湯の大岩露天風呂にゆっくり浸り、足腰を労わりました。夕食は春の山菜・川魚料理でした。アルコールも進み、カラオケとなり、A51山崎悌史氏の持ち歌「お前しか愛せない」「男と女の東京25時」「桜川慕情」から始まり「イヨマンテ」「お前に決めた」「江梨子」「夢追酒」「女の気持ち」と続き、その後も部屋酒で盛り上がりました。

2日目も早朝よりお湯に浸かり、宿の周辺を散策中、瀬戸千段の滝の看板が目に入り裏山に登ること20分で素晴らしい滝を見られました。10時にチェックアウト後、ジャンボタクシーに甲府市内まで送ってもらい、武田神社に参拝。宝物殿を見学し、甲斐善光寺に御参りし、山梨地場センター「かいてらす」にて特産ワイン白と赤で乾杯後、昼食を頂き、お土産を買い、元気組は徒歩で甲府駅まで行き、舞鶴城跡公園を散策しました。

15時25分甲府発「かいじ116号」で新宿に17時05分到着し散会しました。

平成24年6月4日



参加者名：原田 (A32) 土井 (A32) 盆小原 (C34) 嶧田 (M36) 森山 (M37) 岸 (C37) 森岡 (A37)
河野 (A40) 千代延 (E47) 以上9名でした (卒年順)